

KLI Risk Management Journal

水災対策特集

2021年
8月

発行日：令和3年8月13日
発行者：兼松ロジスティクスアンドインシュアランス株式会社 保険事業部
電話：03-4214-3951

1. はじめに

昨今、台風や豪雨の激甚化により、各地で大きな災害が発生しています。これから本格的な風水災シーズンを迎えるにあたり、企業として事前に取り組むべき対策や事故時の対応につきまして、各種ツールをご提供申し上げますとともに、その活用方法につきまして解説させていただきます。

2. 企業における風災・水災対策

台風は地震などの他の自然災害に比べて、気象情報などを収集することにより、予測を立てて、事前の対策を講じることにより、損害を未然に防いだり、損害を最小化することが可能な災害と考えられます。

今回、ご提供を申しあげるツール類をご活用いただき、「いつ」「何をするか」を事前に定めておくことで、「いざ」というときに皆様のお役に立つことができましたら幸いに存じます。

①「企業における風災・水災対策ツール」・「水害タイムライン」

「企業における風災・水災対策ツール」は今回、ご提供を申しあげる各種ツールの全体像を示した、いわば「総合案内」的なツールであり、それぞれのツールの目的、使用時期、使用方法についてご理解いただくためのツールです。また、各種情報収集のためのリソースについても記載しているため、事前の情報収集についてご活用をいただければと存じます。また、「水害タイムライン」は「いつ」「だれが」「何をするか」を時系列で整理したツールです。

②「風災・水災チェックシート」

平常時から警戒、安全確保、業務復旧までのそれぞれのステージごとに確認すべきこと、対応すべきことをまとめたツールです。

③「点検To doリスト」

施設・設備管理の責任者が、施設・設備に問題などが発生していないかを事前に確認するためのツールです。

④「点検結果台帳」

上記③の点検において問題が見つかった場合、改善に向けた対策、対応を確認するためのツールです。

3. ハザードマップの活用について

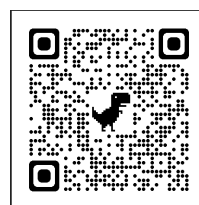
ハザードマップは地図やWEB上で災害についての情報を視覚的に確認することができるツールで、「想定される災害を示すこと」及び「災害による被害を防ぐこと」の二つの機能を備えています。具体的には、住民の命を守るため迅速な非難を促すために、想定される被害や避難場所を示したものです。

以下の二種類のハザードマップにつきまして、企業としての対策のみならず、ご従業員の安全の確保にも積極的にご活用をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

①国土交通省「ハザードマップポータルサイト」

ハザードマップは、各自治体が作成するものであり、各自治体のホームページ上で確認することができるが、広範囲に、複数の拠点を有する企業においては、一つ一つの市町村のホームページを確認することは実務的に負担が大きいため、国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」を利用することをお勧めいたします。

国土交通省 ハザードマップポータルサイト
<https://disaportal.gsi.go.jp/>



ハザードマップポータルサイト

～身のまわりの災害リスクを調べる～

使い方 利用規約 よくある質問 関連情報

重ねるハザードマップ

～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

[地図を見る](#)

場所を入力

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

表示する情報を選ぶ

[過去の代表的な災害事例をみる](#)

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

[地図で選ぶ](#)

まちを選ぶ

都道府県 ▼ 市区町村 ▼

②国土交通省「浸水ナビ」

国土交通省の地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）では、破堤する場所と浸水の時間的な変化、浸水継続時間、浸水到達時間などが確認できます。あらかじめ、どのような時間変化で浸水していくかについて、シミュレーションをすることが可能であり、タイムラインの策定にご活用いただくことが可能です。

国土交通省「浸水ナビ」 <https://suiboumap.gsi.go.jp/>



地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）



「地点別浸水シミュレーション検索システム」（浸水ナビ）は、浸水想定区域図を電子地図上に表示するシステムです。

更新情報
令和2年5月25日 3D機能や浸水深が直感的に分かるCG機能を追加しました。
令和2年8月20日 浸水継続時間の凡例について、区分がわかりやすくするように修正いたしました。今後、本サイトの浸水継続時間を表す凡例及び配色につきまして、「[洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）2017.10.6](#)」に掲載されている凡例の区分に合わせ、変更する予定です。また、浸水継続時間が12時間未満のデータにつきましては、準備が出来次第、掲載する予定です。

「地点別浸水シミュレーション検索システム」

現在、浸水シミュレーションデータ収集中につき一部の地域のデータのみ検索可能です。
今後、順次拡大していきます。現在検索可能な河川は [コチラをご覧ください。](#)

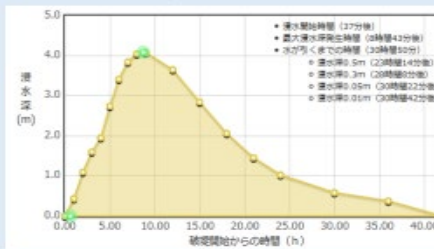


地点別浸水シミュレーション検索システム [を見る](#)



氾濫が生じた場合の浸水範囲や浸水深の変化が分かります

- 想定破堤点を選択することで、氾濫した場合の浸水の広がりや地図上に示すほか、任意の指定地点の浸水深の時間変化をグラフで表示します。



浸水シミュレーショングラフ
(浸水深と継続時間)



選択した
想定破堤点

浸水が広がる様子をアニメーションで表示